

平成 29 年度 第 2 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 平成 29 年 5 月 9 日 (火) 13 : 30 ~ 17 : 40

2 場 所 1609 会議室

3 出席者 学内 : 藤野、井上、中山、興梠、阿南、庄司、長野、榎本  
学外 : 安元、田中  
欠席者 学内 : 原田、佐伯、廣、上野 (晋)  
学外 : 櫻井

4 報告事項等

(1) 平成 29 年度第 1 回産業医科大学倫理委員会議事抄録 (案) について

藤野委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 平成 29 年度第 1 回倫理委員会専門委員会 (持ち回り) について

藤野委員長から、審査結果等について、資料に基づき、次のとおり報告があった。

1) 平成 28 年度第 12 回倫理委員会専門委員会議事抄録 (案) が原案どおり承認された。

2) 変更申請 3 件については、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」することとした。

3) 進捗状況報告 1 件については、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」することとした。

(3) 平成 28 年度第 1 回迅速審査小委員会 (持ち回り) について

中山委員長から、13 件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する申請者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(4) 臨床研究実施計画審査小委員会及びモニタリングレポート審査委員会の委員交代について

藤野委員長から、臨床研究推進センター副センター長交代に伴う委員交代について報告があった。

臨床研究実施計画審査小委員会

新	旧
岡田洋右 (第 1 内科学 准教授) ただし、任期は、平成 29 年 6 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日とする。	齋藤正義 (第 1 内科学 准教授)

モニタリングレポート審査委員会

新	旧
岡田洋右 (第 1 内科学 准教授) ただし、任期は、平成 29 年 6 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日とする。	齋藤正義 (第 1 内科学 准教授)

(5) 倫理審査委員会認定制度構築事業認定委員会について

藤野委員長から、過去 3 年間の認定委員会は、32 機関であり、そのほとんどが大学附属病院や独立行政法人国立病院機構や医療 (研究) センターであるとの説明があった。

## 5 審議事項等

### (1) 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針違反報告書 2 件について

藤野委員長及び②については研究分担者から、次のような説明があった。

これに関して藤野委員長から、②に関する倫理審査申請停止の措置については、学長と協議の上決定したいとの提案があり、審議の結果、承認された。

①倫理指針違反に該当するものではないが、審査を受け、指摘された事項を修正した倫理審査研究計画書を 1 年後に提出した事例。

②研究プロトコールの変更、研究期間の変更、実施分担者の変更に関する倫理審査を受けずに、研究を継続していた事例。なお、研究対象者が不利益を被ることはなかった。

### (2) 倫理委員会専門委員会の新たな構成員について

藤野委員長から、専門委員会の構成員として、6 月 1 日から樫本直樹学内講師（医学概論）を追加することとしたとの提案があり、審議の結果、承認された。

### (3) 他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する様式について

藤野委員長から、個人情報保護法の改正に伴い、本学においても他の研究機関への既存試料・情報を提供する場合は様式を制定することとしたとの提案があり、審議の結果、承認された。

### (4) 外部機関に所属する研究者の倫理申請に関する学長・倫理委員会委員長の確認事項の変更について

藤野委員長から、次のような説明があった。

①所属する機関に研究倫理委員会が存在しないため、倫理審査を受けられず、論文が受理されない卒業生から相談を受けた。

②当該論文は、実務的研究であることから、学長と相談し、卒業生の研究支援の観点から、当該論文の倫理審査を本学で行うこととした。

③このため、現行条件の一つについて変更が必要である。

続いて藤野委員長から、変更案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

新	旧
4) 原則として、産業医科大学に所属する助教（常勤のみ）以上の教員との共同研究であること	4) 産業医科大学に所属する助教（常勤のみ）以上の教員との共同研究であること

## 6 研究倫理審査

### (1) 新規申請

- ① 申請者： 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 教授 河井 一明  
 課題名： タイ農薬散布従事者の尿中酸化的 DNA 損傷マーカー（8-ヒドロキシデオキシグアノシン）の測定  
 審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

1行目の書き出しを1文字分上げる。

- ② 申請者： 医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
課題名： 縦隔リンパ節転移を有するⅢA期EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するエルロチニブによる術前導入療法後の外科的切除の第Ⅱ相試験  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策(個人情報等の取り扱い方法)

2行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

14. 研究費の資金源と利益相反について

4行目『なお、プロトコル審査委員会/独立データモニタリング委員会/監査委員会及びデータセンターを担当するJORTCが寄付金の提供を受けている企業の中には、本研究の治験レジメンで使用される薬剤を製造もしくは販売する企業が含まれているため、本研究における当該企業との利益相反の関係を、完全には否定できない。』以降、最終行までは本学とは無関係の記述なので削除する。

20. その他

参加施設を列挙する。

参加者の方(患者さん)への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

冒頭に本研究が多施設共同研究であること、研究代表者、事務局についての記述を追加する。

- ③ 申請者： 医学部 第1内科学 学内講師 岩田 慈  
課題名： 神経精神ループス neuropsychiatric SLE (NPSLE)患者における精神症状評価スケールおよび画像所見とその治療反応性に関する検討  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

対象者はSLE患者であるので、6行目『またSLE患者では、』の『また』を削除する。

参加者の方(患者さん)への説明文書

13. 試料・情報の保管及び廃棄方法

4行目『データは』の前に『研究実施責任者の厳重な管理の下、』を追加する。

8行目『自主臨床研究審査委員会』という組織の記載があるが、倫理審査研究計画書に説明がない。

- ④ 申請者： 医学部 整形外科 学内講師 目貫 邦隆  
課題名： 原発性骨粗鬆症患者におけるゾレドロン酸水和物投与における非ステロイド性抗炎症薬の急性期反応発現抑制効果を検証する多施設共同ランダム化比較試験

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

個人情報の保管場所を記述する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）

最後の『研究については本学整形外科学ホームページに公開し、患者さんが自身のデータ利用拒否の申し出ができるよう配慮する』は、本研究が前向き研究であることから、意味不明である。

13. 研究業務の一部を委託する場合の業務内容と監督方法

統計解析責任者 藤原佐枝子の役割、研究業務（解析）の委託先 メディカルエッジ株式会社との関係について明確にする。

参加者の方（患者さん）への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

海外で認められている薬剤を日本で敢えて研究することについて説明する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

近親者や知り合いに誤解を与えるので、4～5行目『あなたやお友達、お子さんやお孫さんなど』は削除する。

16. 研究対象者等に経済的負担又は謝礼がある場合、その旨及びその内容

倫理審査研究計画書に記述しているように、クオカードを渡す時期（患者日誌提出時）を記述する。最後の『お受け取りいただくかは、あなたの自由です』は削除する。

⑤ 申請者： 医学部 整形外科学 助教 山中 芳亮

課題名： ばね指発症機序の分子細胞学的解析

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

2行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

参加者の方（患者さん）への説明文書

5. 研究の方法

最後の『処理を行った細胞や検体は特殊な環境で保管し、様々な条件で研究ができるよう調整します』の『調整します』は意味不明である。

12. 個人情報の取り扱い

3～4行目『本学個人識別情報管理者』を『研究実施責任者』に改める。

4行目『研究実施責任者が』を削除する。

8行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

- ⑥ 申請者： 医学部 整形外科学 助教 山中 芳亮  
課題名： インプラントおよび骨セメント上に形成される膜様組織の分子細胞学的検討  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）  
『骨接合術または抜釘術を施行する症例、各 50 症例』はわかりにくい。  
7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策  
（個人情報等の取り扱い方法）  
2 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

参加者の方（骨折の治療を行う患者さん）への説明文書

6. 研究対象者として選定された理由  
1 行目『またはセメントやインプラント抜去』を削除する。  
12. 個人情報の取り扱い  
3～4 行目『本学個人識別情報管理者』を『研究実施責任者』に改める。  
4 行目『研究実施責任者が』を削除する。  
8 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。  
以上のことは、参加者の方（抜釘またはセメント除去を行う患者さん）への説明文書も同様である。

参加者の方（抜釘またはセメント除去を行う患者さん）への説明文書

6. 研究対象者として選定された理由  
1 行目『骨折の治療または』を削除する。

- ⑦ 申請者： 産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩  
課題名： 新型タバコを含むタバコ製品から呼出されるエアロゾルの可視化、定性・定量による啓発資材の作成についての研究  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策  
（個人情報等の取り扱い方法）  
2～3 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

- ⑧ 申請者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 助教 永田 智久  
課題名： 職域における個別睡眠衛生教育が睡眠の改善や労働生産性に与える影響に関する無作為化比較試験  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策  
(個人情報等の取り扱い方法)

1 行目 『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

参加者の方への説明文書

12. 個人情報の取り扱い

2～3 行目 『本学個人識別情報管理者』を『研究実施責任者』に改める。

3 行目 『研究実施責任者が』を削除する。

7 行目 『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

アクションチェックリストを添付する。

- ⑨ 申請者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 教授 宮内 博幸  
課題名： 対光反応解析装置を用いた眼疲労の評価に関する研究  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法 (募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等)  
掲示板に掲示する文書が添付されていない。

学生用メーリングリストでの参加者募集は、強制的印象を与えるので適切ではない。

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

21 行目 誤植がある。『測定前には』を削除する。

5. 実施計画 5) 方法 c) 評価項目 c) -1 主要評価項目 (プライマリーエンドポイント)  
誤植がある。『30 項目を』を『30 項目の』に変更する。

6. 医学からみた客観的意義 (研究の科学的合理性の根拠)

誤植がある。『増化』を『増加』に変更する。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

誤植がある。5 行目 『存在するに』の『に』を削除する。

同意書

代諾者署名欄を削除する。

自覚症状調査票

質問 30 番目の『メガネやコンタクトをしている』については、回答欄を別にする。

- ⑩ 申請者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 主任 田中 明美  
課題名： 骨髄異形成症候群 (MDS) の画像判定サポートシステム開発のための試料提供協力  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

1. 研究課題名

『骨髄異形成症候群（MDS）の画像判例サポートシステム開発 ―試料提供協力―』に変更する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

連結可能匿名化は、研究実施責任者の管理の下で実施する旨を記述する。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 1) 対象者の利益、負担及び予測されるリスクの総合的評価

連結可能匿名化は、研究実施責任者の管理の下で実施する旨を記述する。

① 申請者： 医学部 精神医学 助教 大塚 悠加

課題名： 健常人の認知機能と運転に及ぼす影響

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

1. 研究課題名

研究内容を踏まえ、『健常人の認知機能と運転に及ぼす個人因子の検索』に変更する。

5. 実施計画 4) 場所

実際に実験を行う部屋を記述する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

1行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 6) 研究情報（結果を含む）の対象者への開示及び相談への対応

自身の認知機能と運転遂行能力との関連について知りたいと思う対象者もいるのではないか。開示することを検討してはどうか。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

4行目『本学個人識別情報管理者の管理の下、』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改め、続く『研究実施責任者（および実施分担者）によって』を削除する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

2行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

4行目『又は論文などの発表から10年』は削除する。

参加者の方への説明文書

5. 研究の方法

5～6行目 誤植がある。『賃金、一週間の就労時間、雇用形態』は運転歴ではなく、被験者背景に該当するので、移動させる。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

5行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者によって』を削除する。

12. 個人情報の取り扱い

2行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改め、続く『研究実施責任者が』を削除する。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

1行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

4行目『又は論文などの発表から10年』は削除する。

⑫ 申請者： 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀

課題名： 看護師の職場環境改善に関する介入研究の生理学的検討

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 実施分担者 所属

1行目『薬理学 訪問研究員』を『生体物質化学 訪問研究員』に改める。

誤植がある。3行目 成人・老人看護学→成人・老年看護学

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法 ②

4行目 ファシリテーターについて具体的に所属、職名、氏名を記述するとともに、共同研究者であるので、実施分担者に加える。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策 (個人情報等の取り扱い方法)

1行目『本学個人識別情報管理者の管理のもとで』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

質問紙記入にかかる時間は、『30分程度』が適切か検討する。記入にかかる時間について参加者の方への説明文書にも記述する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

採取した生体試料と個人情報を10年間保存して、別の研究に利用することについて参加者の方への説明文書にも記述する必要がある。

4行目『本学個人識別情報管理者のもと』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者が』を削除する。

参加者の方への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

10行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者によって』を削除する。

12. 個人情報の取り扱い

2～3行目『本学個人識別情報管理者』を『研究実施責任者』に改める。

3行目『研究実施責任者が』を削除する。

7行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

生体試料及び個人情報の具体的は保管場所について記述する。



質問紙

「看護師の職場環境改善に関する介入研究の生理学的検討」調査票に氏名を書く欄を設ける。

- ⑬ 申請者： 医学部 第2内科学 学内講師 荻ノ沢 泰司  
課題名： CTで評価した心室ペーシング部位が循環動態・予後に与える影響の検討  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 7) 対象者及び関係者からの相談への対応  
ここに書かれている内容を『研究結果の開示』として、患者さんならびにご家族の方へのお知らせに記述する。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策  
1行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者によって』を削除する。
12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法  
1行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者が』を削除する。

- ⑭ 申請者： 医学部 第2内科学 准教授 園田 信成  
課題名： 喫煙・禁煙及び継続禁煙指導が薬剤溶出性ステント留置後の血管機能に及ぼす効果  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法  
研究においては侵襲性はないので、1行目の『侵襲性の高い』を削除する。
7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）  
3行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策  
3行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者によって』を削除する。
11. 通常の医療を超える臨床介入研究の場合、実施後の最善の医療提供に関する対応  
『8-10に記載』を『通常の医療を超える臨床介入研究には該当しない。』に改める。
12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法  
2行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

参加者の方（患者さん）への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

10 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者によって』を削除する。

12. 個人情報の取り扱い

3 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改め、続く『研究実施責任者が』を削除する。

8 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

2 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

15. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

2 行目『実施分担者』の氏名が書かれていない。『説明者』に改める。

- ⑮ 申請者： 医学部 第2内科学 学内講師 村岡 秀崇  
課題名： 経皮的冠動脈形成術（PCI）における Ultimaster<sup>®</sup> Sirolimus-eluting stent 留置後 3 ヶ月以降の単剤抗血小板療法の安全性、有効性に関する研究（MODEL U-SES）  
3-Month Discontinuation of Dual Antiplatelet Therapy after Ultimaster<sup>®</sup> Sirolimus-Eluting Stent Implantation（MODEL U-SES）  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

「参加施設一覧」を添付する。

6. 医学からみた客観的意義（研究の科学的合理性の根拠）

簡潔に記載する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

誤植がある。8 行目『や生体試料』を削除する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

12. 個人情報の取り扱い

2～3 行目『本学個人識別情報管理者』を『研究実施責任者』に改める。

3 行目『研究実施責任者が』を削除する。

7 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

3 行目『(個人情報管理者)』を削除する。

誤植がある。4 行目『生体試料及び』を削除する。

- ⑯ 申請者： 医学部 泌尿器科学 助教 福田 敦史  
課題名： 泌尿器科疾患及びそれに伴う治療が骨強度に及ぼす影響  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

1. 研究課題名

研究内容に沿った課題名に変更する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障  
説明事項 1) から 11) は削除する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

12. 個人情報の取り扱い

2～3 行目『本学個人識別情報管理者』を『研究実施責任者』に改める。

3 行目『研究実施責任者が』を削除する。

6～7 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』

- ⑰ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則  
課題名： 16S ribosomal RNA 遺伝子を用いた肺非結核性抗酸菌症および慢性下気道感染症の進行の後方視的検討  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策  
(個人情報等の取り扱い方法)

2 行目『本学個人識別情報管理者』を『研究実施責任者』に改める。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

3 行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者によって』を削除する。

ホームページに掲載する患者さんへのお知らせ文書

6. 研究方法

カルテ情報を利用することを記述する。

これに関連して、藤野委員長から、気管支洗浄は診断目的で行われるが、診断後も気管支洗浄液を研究室において保管していることについて、その目的を呼吸器内科学講座のホームページにおいて公表することを勧めるとの発言があった。

- ⑱ 申請者： 医学部 眼科学 教授 近藤 寛之  
課題名： 遺伝性眼底疾患にみられる網膜異常所見の検討  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障  
後ろ向き研究対象者についての記述を追加する。

このことは、3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）、4) 代諾者からインフォームド・コンセントを受ける場合の選定方針と手続方法、5) インフォームド・アセントを受ける場合の手続方法についても同様である。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

2行目『現時点では予測が不可能である』という記述は検討を要する。

参加者の方（患者さんまたは代諾者）への説明文書

7. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるされるリスク及び利益

3行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に改め、続く『研究実施責任者によって』を削除する。

12. 個人情報の取り扱い

3行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を削除する。

7行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

患者さんへの説明文書（アセント用）

3. 研究の方法

2行目『行います』と4行目『構造を見ることができます』にルビを振る。

①⑨ 申請者： 医学部 第3内科学 助教 本間 雄一

課題名： 直接型抗ウイルス薬によりウイルス学的著効を示したC型慢性肝炎疾患患者における肝発癌の実態を明らかにするための多施設共同前向き研究

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

1. 研究課題名

後向き研究でもあるので、変更が必要である。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

5～9行目の研究代表機関である久留米大学関連の記述は削除する。

誤植がある。13～14行目『データ送付に関しては、パスワードをかけたCD-ROM等の電子媒体にデータをする』は削除する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

2～3行目『本学個人識別情報管理者の管理の下』を『研究実施責任者の厳重な管理の下』に変更し、続く『研究実施責任者によって』を削除する。

12. 個人情報の取り扱い

2～3行目『本学個人識別情報管理者』を『研究実施責任者』に改める。

3行目『研究実施責任者が』を削除する。

7行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改める。

ホームページに掲載する患者さんへのお知らせ

7. 個人情報の取り扱い

2行目『本学個人識別情報管理者の管理の下で』を『研究実施責任者の厳重な管理の下で』に改め、続く『研究実施責任者が』を削除する。

②⑩ 申請者： 医学部 第3内科学 助教 本間 雄一

課題名： 直接型抗ウイルス薬治療によるC型肝炎ウイルス排除が患者QOLにもたらす影

響についての検討

審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。

- ② 申請者 : 医学部 第3内科学 助教 本間 雄一  
課題名 : 小胞体ストレス、酸化ストレス関連慢性肝疾患における肝発癌関連因子の検討  
審査要旨 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方（患者さん）への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

診断のために行った肝生検の余剰組織を用いる研究であるため、本研究においてのリスクとして記述する必要はない。

(2) 新規申請（迅速審査）

- ① 申請者 : 医学部 小児科学 講師 保科 隆之  
課題名 : 急性細菌性下気道炎の診断で入院した患者に対する早期経口抗菌薬スイッチ療法の有用性の検討  
審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者 : 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 講師 池上 和範  
課題名 : 中小企業の健康経営に関する調査および健康経営支援ツールの開発  
審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者 : 医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則  
課題名 : 当院における非 HIV 患者のニューモシスチス肺炎 (non-HIV PCP)に関する臨床的検討  
審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 申請者 : 産業保健学部 成人・老年看護学 准教授 長 聡子  
課題名 : 一般病棟におけるがん患者の家族ケアシステムの確立に関する研究  
審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者 : 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 教授 河井 一明  
課題名 : ヒト血清による脂肪細胞分化誘導能レベルの測定  
審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 申請者 : 産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久  
課題名 : 産業医活動の有効性に関する政策評価研究  
審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 申請者 : 医学部 放射線科学 准教授 青木 隆敏  
課題名 : 乳腺病変検出における3次元マンモグラフィの臨床的有用性評価  
審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。

- ⑧ 申請者： 医学部 放射線科学 准教授 青木 隆敏  
 課題名： 胸部 CT による関節リウマチのリンパ節評価  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 申請者： 医学部 第3内科学 助教 日浦 政明  
 課題名： 全国原発性肝癌追跡調査  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則  
 課題名： 膿胸の予後及び治療経過に関連する患者背景因子を明らかにする調査研究  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則  
 課題名： 細菌叢解析手法を用いた細菌感染関連胸水の原因菌調査および原因菌と臨床的特徴に関する後方視的検討  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 申請者： 医学部 小児科学 助教 守田 弘美  
 課題名： 小児がんの終末期における訪問看護に関する調査研究  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑬ 申請者： 産業保健学部 基礎看護学 教授 辻 慶子  
 課題名： 回復期リハビリテーション病院で働く看護師の職業的アイデンティティ  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

### (3) 変更申請

- ① 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志  
 課題名： びまん性肺疾患に特異的な核酸・タンパクの探索  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者： 医学部 第3内科学 教授 原田 大  
 課題名： 消化器疾患における小胞体ストレスならびにオートファジーの意義  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者： 産業医科大学若松病院 リウマチ糖尿病内科 助教 久保 智史  
 課題名： 炎症病態下での樹状細胞由来破骨細胞の同定：骨破壊の抑制を目指した新規治療薬の開発  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 申請者： 医学部 神経内科学 講師 兒玉 直樹  
 課題名： 摂食障害患者の脳機能と構造に関する多施設共同研究  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者： 医学部 第2内科学 准教授 園田 信成  
 課題名： 安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバ

- ン単剤療法に関する臨床研究 (AFIRE Study)  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 申請者 : 産業医科大学若松病院 リハビリテーション科 准教授 岡崎 哲也  
 課題名 : イオマゼニル単光子放出コンピュータ断層撮像の統計学的画像解析法を用いた  
 軽症脳外傷後高次脳機能障害の臨床研究  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 申請者 : 医学部 精神医学 教授 吉村 玲児  
 課題名 : 職域のうつ病回復モデル開発  
 ～うつ病・適応障害復職者における簡易型認知行動療法プログラムの効果検証～  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 申請者 : 医学部 第3内科学 講師 田口 雅史  
 課題名 : 早期慢性膵炎および慢性膵炎疑診例の前向き予後調査  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 申請者 : 医学部 第3内科学 講師 田口 雅史  
 課題名 : 自己免疫性膵炎の前向き追跡調査  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 申請者 : 医学部 第1内科学 講師 岡田 洋右  
 課題名 : 新規にステロイドを投与する患者における、アレンドロネートのステロイド性  
 骨粗鬆症に対するデノスマブの非劣性を検証する  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 申請者 : 産業医科大学病院 消化管内科、肝胆膵内科 助教 千手 倫夫  
 課題名 : ジクロフェナク坐剤による内視鏡的逆行性胆管膵管造影後膵炎の発症予防に関  
 する検討  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 申請者 : 産業保健学部 人間情報科学 准教授 江口 泰正  
 課題名 : 職場環境や労働者の欲求、性格特性に着目した身体活動量向上指導のあり方の  
 研究  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑬ 申請者 : 医学部 神経内科学 准教授 岡田 和将  
 課題名 : 視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性検証試験の継続投与試験  
 (RIN-2)  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑭ 申請者 : 医学部 第1内科学 講師 岡田 洋右  
 課題名 : 2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療との  
 ランダム化比較試験 介入終了後の追跡研究 J-D0IT3 (追跡)  
 審査要旨 : 審査の結果、「承認」とする。

- ⑮ 申請者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久  
 課題名： 企業と健康保険組合とのコラボレーションによる健康管理活動および保健事業の推進のための研究（コラボヘルス研究）  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑯ 申請者： 医学部 リハビリテーション医学 講師 越智 光宏  
 課題名： 慢性期脳卒中片麻痺患者に対する機能的電気刺激（ウォークエイド®）の効果（多施設共同前向き比較研究）  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑰ 申請者： 産業生態科学研究所 人間工学 准教授 泉 博之  
 課題名： 介護施設における介護作業員の作業負荷・作業負担調査  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑱ 申請者： 医学部 神経内科学 教授 足立 弘明  
 課題名： パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究（介入研究）  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

## 7 その他

- (1) 藤野委員長から、研究終了報告 13 件、中止報告 10 件及び進捗状況報告 36 件について、資料に基づき説明があり、承認された。

### < 終了報告 > 17 件

- H23-125 申請者：医学部 第2内科学 講師 荒木 優  
 課題名：心不全入院患者におけるトルバプタンの治療効果の検討（略称：TOLERANCE 研究）
- H24-018 申請者：医学部 第2内科学 講師 荒木 優  
 課題名：腎性貧血を合併した心機能低下患者に対する貧血治療の有効性についての研究
- H26-050 申請者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 三宅 晋司  
 課題名：無拘束体動センサによる心拍測定精度の検証
- H26-051 申請者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 准教授 秋山 幸雄  
 課題名：受動喫煙の社会的受容度に及ぼす ETS (Environmental Tobacco Smoke) 個人曝露量と五感による曝露認知に関する総合的研究 -ETS 曝露評価のための濃度測定器・調査票の検討-
- H27-001 申請者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
 課題名：胸部悪性腫瘍の発生と転移に関する研究 九州工業大学との共同研究：早期がん診断マルチマーカーのプラットフォームとしての電気化学的バイオセンサの開発



- H27-003 申請者：産業医科大学病院 皮膚科 非常勤医師 尾本 大輔  
課題名：円形脱毛症患者の脱毛部からの白髪出現におけるオートファジーの役割の解明と予防法の確立
- H27-049 申請者：医学部 第2外科学 助教 栗田 泰治  
課題名：高齢者肺癌に対する外科治療の安全性と有効性を評価するための多施設共同前向き調査研究
- H27-064 申請者：産業医科大学病院 形成外科 准教授 安田 浩  
課題名：エスアイエイドによる創傷処置の手間とトータルコスト軽減の効果検討
- H27-090 申請者：医学部 産業衛生学 助教 土屋 卓人  
課題名：ドットプロット法を用いた化学物質特異的 IgE、IgG 測定と日常生活レベルにおける化学物質曝露およびアレルギー症状との関連性についての研究
- H27-118 申請者：産業保健学部 成人・老年看護学 教授 阿南あゆみ  
課題名：交代制勤務女性看護師の精神的・身体的ストレス状況と労働ストレス要因
- H27-179 申請者：医学部 泌尿器科学 助教 西井 久枝  
課題名：自己導尿男性患者における、男性用親水性コーティング使い捨てタイプ導尿カテーテル使用による導尿・生活の質の改善の検討
- H27-216 申請者：産業保健学部 広域・発達看護学 講師 中村 恵美  
課題名：自閉症の子どもを育てる母親の「心の拠り所」に関する研究
- H28-046 申請者：産業保健学部 広域・発達看護学 講師 中村 恵美  
課題名：自閉症スペクトラム障害をもつ患者との関わりにおける看護師の不安や困難感と学習ニーズ
- H28-062 申請者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 准教授 秋山 幸雄  
課題名：受動喫煙の社会的受容度に及ぼす ETS (Environmental Tobacco Smoke) 個人曝露量と五感による曝露認知に関する総合的研究
- H28-111 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
課題名：産業医を対象とした「ストレスチェック制度」の実施状況・運用方法に関する面接調査
- H28-121 申請者：医学部 泌尿器科学 助教 西井 久枝  
課題名：前立腺肥大症患者におけるタダラフィルの夜間頻尿に対する効果と機序に関する検討
- H28-188 申請者：産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 助教 田嶋 裕子  
課題名：平成 28 年度 第2外科における実践的な手術手技向上研修事業

<中止報告> 10件

- 09-98 申請者：医学部 第2外科学 助教 栗田 泰治  
課題名：EGFR 活性型変異を有する非小細胞肺癌患者の EGFR-TKI 耐性機構を検討する研究

- H23-31 申請者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
課題名：肺癌における循環腫瘍細胞の標準的検査法の確立に関する研究
- H23-32 申請者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
課題名：肺癌における循環腫瘍細胞および上皮成長因子受容体関連遺伝子の臨床的意義に関する研究
- H24-159 申請者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
課題名：冠動脈疾患合併肺癌患者に対する周術期合併症に関する因子の探索 多施設共同後ろ向きコホート研究
- H25-185 申請者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
課題名：肺癌における術後再発に関する研究
- H26-114 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
課題名：パニック障害患者および健常対照群における肺活量の比較
- H26-115 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
課題名：労働者1万人の多目的パネル追跡による職業性ストレスの健康影響の包括的な解明
- H26-124 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
課題名：認知行動療法を受けたパニック障害患者の肺活量に関する後ろ向き研究
- H27-047 申請者：医学部 泌尿器科学 助教 西井 久枝  
課題名：女性尿失禁患者に対する理学療法の介入効果
- H27-140 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
課題名：「ストレスチェック制度」導入前における労働者の心理的な負担の程度に関する実態調査

<進捗状況報告> 36件

- 05-70 申請者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
課題名：腫瘍抗原の同定及び解析
- 10-127 申請者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
課題名：胸部悪性腫瘍における循環腫瘍細胞および循環内皮細胞の臨床的意義に関する研究
- H23-41 申請者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
課題名：進行、再発肺扁平上皮癌に対するプラチナベース併用療法後のS-1維持療法第II相試験
- H23-103 申請者：医学部 第2外科学 学内講師 黒田 耕志  
課題名：EGFR-TKI 耐性肺腺癌に対するEGFR-TKI とS-1併用療法の有用性に関する研究：第II相試験
- H23-104 申請者：医学部 第2外科学 学内講師 黒田 耕志  
課題名：縦隔リンパ節転移を有するIII期N2非小細胞肺癌に対する術前の化学放射線療法と手術を含むtrimodality治療の実施可能性試験

- H23-108 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
 課題名：職業性ストレス要因と生活習慣、心理的ストレス反応との関連：縦断データによる検討
- H23-129 申請者：産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 助教 田嶋 裕子  
 課題名：エストロゲン受容体陽性 HER2 陰性乳癌に対する S-1 術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験
- H23-137 申請者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
 課題名：非扁平上皮非小細胞肺癌に対する術前導入療法としての Cisplatin+ Pemetrexed + Bevacizumab 併用療法の検討
- H23-158 申請者：医学部 第2外科学 助教 近石 泰弘  
 課題名：全国肺癌登録調査：2012 年内科症例に対する登録研究
- H24-129 申請者：医学部 第2外科学 学内講師 黒田 耕志  
 課題名：切除可能な悪性胸膜中皮腫に対してペメトレキセド・シスプラチンの化学療法後に、胸膜切除/肺剥皮術を企図して完全切除を行う集学的治療の遂行可能確認試験
- H24-145 申請者：医学部 第2内科学 講師 津田 有輝  
 課題名：日本人の人工弁置換術後における抗血小板療法の有効性および安全性に関する臨床研究
- H25-032 申請者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
 課題名：完全切除非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセド+シスプラチン併用療法とビノレルビン+シスプラチン併用療法のランダム化比較第Ⅲ相試験
- H25-124 申請者：医学部 第2内科学 講師 荒木 優  
 課題名：慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討 (RESPECT-EPA)
- H25-152 申請者：医学部 第2内科学 講師 津田 有輝  
 課題名：冠動脈ステント留置術後 1 2ヶ月超を経た心房細動患者に対するワーファリン単独療法の妥当性を検証する多施設無作為化試験 (OAC-Alone 試験)
- H25-153 申請者：医学部 第2内科学 講師 津田 有輝  
 課題名：末梢動脈疾患の血管内治療に関する前向き多施設観察研究 (J-PASSION 研究)
- H25-156 申請者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
 課題名：縦隔リンパ節転移を有するⅢA 期非扁平上皮非小細胞肺癌に対する術前導入療法としてのシスプラチン+ペメトレキセド+ベバシズマブ併用療法もしくは、シスプラチン+ペメトレキセド+同時胸部放射線照射 (45Gy)後の手術のランダム化比較第Ⅱ相試験
- H25-186 申請者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
 課題名：縦隔リンパ節転移を有するⅢA 期肺原発扁平上皮癌に対する術前導入療法としてのシスプラチン+TS-1+同時胸部放射線照射 (45Gy)後の手術の第Ⅱ相試験

- H26-003 申請者：医学部 第2外科学 助教 近石 泰弘  
課題名：微小肺病変に対するバーチャル気管支鏡ナビゲーションを利用した術前気管支鏡下マーキング
- H26-023 申請者：産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 助教 平良 彰浩  
課題名：未治療進行・再発の非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたカルボプラチン＋パクリタキセル＋ベバシズマブ併用療法とシスプラチン＋ペメトレキセド＋ベバシズマブ併用療法のランダム化第Ⅱ相臨床試験
- H26-032 申請者：産業医科大学若松病院 リウマチ糖尿病内科 助教 久保 智史  
課題名：炎症病態下での樹状細胞由来破骨細胞の固定：骨破壊の抑制を目指した新規治療薬の開発
- H26-112 申請者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
課題名：肺尖部胸壁浸潤癌（Superior sulcus tumor：SST）に対する術前導入療法としてのシスプラチン（CDDP）＋ティーエスワン（TS-1）＋同時胸部放射線照射（66Gy）後の手術の有効性検証試験
- H26-164 申請者：医学部 第3内科学 講師 田口 雅史  
課題名：早期慢性膵炎および慢性膵炎疑診例の前向き予後調査
- H27-089 申請者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 三宅 晋司  
課題名：森林風景がもたらす癒し効果の検証
- H27-120 申請者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 三宅 晋司  
課題名：異なる教示方法における精神課題遂行中の生体反応に関する研究
- H27-122 申請者：医学部 第3内科学 講師 田口 雅史  
課題名：自己免疫性膵炎の前向き追跡調査
- H27-125 申請者：医学部 皮膚科学 助教 春山 護人  
課題名：夜間勤務が医療従事者の皮膚の角質水分量、水分蒸散量に及ぼす影響についての検討
- H27-150 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
課題名：小規模事業場における参加型職場環境改善の標準的方法の開発 ー事業主と従業員を対象としたメンタルヘルス対策に関する実態調査
- H27-172 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
課題名：東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究「Nuclear Emergency Workers (NEW) Study」：心理的影響調査
- H27-196 申請者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 三宅 晋司  
課題名：空気環境の精神作業および生体反応へ及ぼす影響に関する研究
- H27-222 申請者：医学部 第2内科学 講師 津田 有輝  
課題名：腎動脈狭窄症に対し経皮的腎血管形成術が腎機能や予後に及ぼす影響の検討

- H27-244 申請者：産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 助教 今西 直子  
課題名：病理病期 IB 期非小細胞肺癌完全切除例に対する nab-Paclitaxel/Carboplatin  
併用療法の feasibility study
- H27-245 申請者：医学部 第 2 外科学 助教 近石 泰弘  
課題名：病理病期 II-III A 期非小細胞肺癌完全切除例に対する CDDP/TS-1 followed by  
TS-1 隔日投与方法の Feasibility study
- H28-012 申請者：医学部 第 2 外科学 学内講師 黒田 耕志  
課題名：全国肺癌登録調査：2010 年肺癌手術症例に対する登録研究
- H28-102 申請者：産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 助教 名部 裕介  
課題名：高齢者非小細胞肺癌切除症例の術後補助化学療法に注目した前向き観察研究
- H28-112 申請者：医学部 第 2 外科学 助教 篠原 伸二  
課題名：微小肺病変に対する切除支援気管支鏡下肺マーキング法の非対照非盲検単群試  
験
- H28-134 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣  
課題名：小規模事業場の労働者を対象とした参加型職場環境改善の標準的方法の開発－  
比較対照試験－